

# 東武動物公園 ニュースリリース

動 27-13 号  
平成 27 年 7 月 22 日

## ホワイトタイガーの子どもの脚の診療について 其二

東武動物公園(東武レジャー企画(株) 埼玉県宮代町 社長:日置岳人)で、飼育しているホワイトタイガー4 兄弟(2015 年 1 月 25 日生まれ、長男「スピカ」、次男「マリン」、三男「リーフ」、四男「アポロ」)の内、三男「リーフ」の右膝の手術を 6 月 26 日に行いました。

術後の経過観察として、7 月 24 日に、手術を行った日本大学生物資源科学部付属の動物病院にて CT 検査などを行います。また、リーフと同じ疾患がみられる長男「スピカ」の診療(手術含む)も合わせて行います。

(これまでの経緯)

当園では、2013 年 3 月にも 4 頭のホワイトタイガーが生まれており、その時の長男(スカイ)が、後ろ右脚の膝蓋骨内方脱臼(しつがいこつないほうだっきゅう)と診断され、同年 12 月に手術を行いました。

この経験を踏まえ、今回は早期発見・治療を心がけ、2 月 1 日より始めた健康診断時(その後毎週 1 回実施)に脚の具合を注意して観察していました。また、2 月 11 日には、スカイの手術を行った日大の先生にお越しいただき、診察を行い、同月 22 日には、レントゲン撮影を行いました。その結果、2 頭(スピカ、リーフ)の後ろ脚にスカイ同様、膝蓋骨内方脱臼の症状がみられました。

しかし、体はまだまだ成長過程のため、自然治癒にも期待し、2 月 23 日から保定が可能な限り、脚を曲げ伸ばすマッサージを施しました。(ほぼ毎日約 10 分間、4 月 30 日まで実施)

その間、3 月 24 日、4 月 12 日に、再び日大の先生による再診、レントゲン撮影を行いました。症状は大きく変わりませんでした。このままでは、今後、歩行に支障がでてくる可能性があるため、日大生物資源科学部の先生とも相談した結果、6 月 26 日に、日大動物病院にて診療を受けました。

病院では、CT 検査などを行い、症状が悪化していたリーフの右膝の手術を先行して行いました。約 5 時間にも及ぶ手術を終えたリーフは、翌日お昼頃に園に戻り、現在、展示場裏にある寝部屋で入院中です。

膝蓋骨内方脱臼とは・・・膝のお皿のような形をした骨(膝蓋骨)が内側に脱臼する疾患です。

※手術を行うかは、当日の CT 検査などの結果により、その場で判断する予定です。

※取材については、動物の体調などにより撮影範囲が限られますので、病院からの指示に従ってください。



スピカ



リーフ

診療に関するお問合せ

神奈川県藤沢市亀井野 1866

日本大学生物資源科学部 企画広報 廣海

TEL:0466-84-3800 FAX:0466-84-3805

東武動物公園に関するお問合せ

埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田

TEL:0480-93-1200 ・FAX:0480-92-2694